



阿波人形 浄瑠璃芝居 in 勝浦

フェスティバル

演目	大夫	三味線	人形
傾城阿波の鳴門 順礼歌の段	澤田 芽衣 (友和嘉会)	豊澤 町若 (喜笑会)	勝浦町子ども阿波人形芝居教室
壺坂観音霊験記 沢市内の段 山の段	長野 紫寿 (友和嘉会)	竹本友和嘉 [重要無形文化財義太夫節 総合指定保持者]	小松島西高校勝浦校民芸部

えびす舞

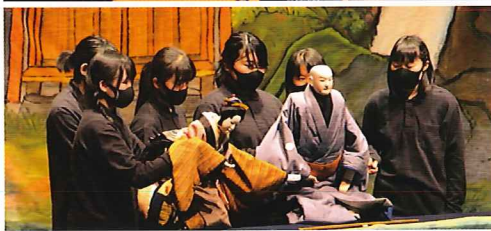
勝浦座

生写朝顔話 宿屋から大井川の段

船橋 美和
(友和嘉会)

竹本友和嘉
[重要無形文化財義太夫節
総合指定保持者]

勝浦座

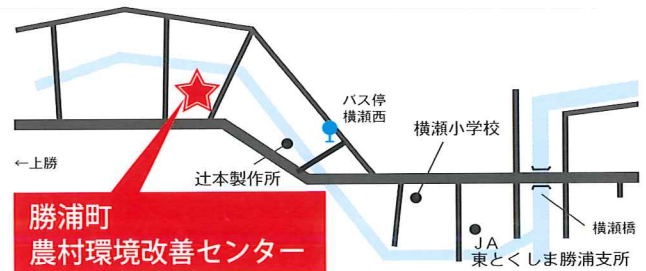


とき 令和3年 11月7日(日)

- ◆ 開場 12:30
- ◆ 開演 13:00
- ◆ 終了 16:00 (予定)

ところ 勝浦町農村環境改善センター

勝浦郡勝浦町大字三溪字古川3-2 ☎0885-42-3300



- ・定員に達した場合は、入場を制限させていただきます。
- ・ご来場の際はマスクの着用、入口での手指消毒にご協力ください。
- ・入場の際、住所・氏名・連絡先等の記入をお願いします。
- ・体調のすぐれない方の入場はご遠慮願います。
- ・感染拡大状況によっては内容の変更、または中止となる場合があります。ご了承ください。

定員100名
(当日受付・先着順)

入場
無料

●主催 勝浦町教育委員会 / 勝浦座
●問い合わせ先 勝浦町教育委員会 (TEL) 0885-42-2515 (IP電話) 050-3438-7148

喜笑会・友和嘉会

喜笑会は、明治20年頃、神山町の高橋瑞月氏が鬼笑会を興し、昭和45年、豊澤町子師匠が、喜笑会と改め、今日に至っている。豊澤町子師匠は昭和21年に三味線を始め、昭和23年豊澤町助師に入門し昭和27年、豊澤町子を拝命、三味線や義太夫語りの後継者を多く育て阿波人形浄瑠璃の継承に貢献してきた。その功績が認められ、平成25年度地域伝統文化功労者表彰を受賞した。現在、後継者として、町若（孫）が引き継ぎ努めている。

友和嘉会は、平成9年に人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した竹本友和嘉師匠を指導者として発足し、徳島最大の語りの会に成長。会の活動は幅広く、徳島県内はもとより淡路、大阪等の大会にも積極的に参加している。竹本友和嘉師匠は東京・国立演芸場での女流義太夫演奏会にも出演し、重要無形文化財義太夫節総合認定保持者にも認定されている。また、近年は豊澤町若（娘）、澤田芽衣（孫）とともに親子3世代で人形浄瑠璃の普及・継承に励んでいる。



豊澤 町若
(喜笑会)



澤田 芽衣(11歳)
(友和嘉会)



竹本 友和嘉
(友和嘉会)



長野 紫寿
(友和嘉会)



船橋 美和
(友和嘉会)



勝浦町子ども 阿波人形芝居教室

「勝浦町子ども阿波人形芝居教室」は、徳島が誇る伝統芸能「阿波人形浄瑠璃」の保存・発展を図り、後継者の育成を目的に平成18年から小・中学生を対象に実施。今年の参加者は中学生4名で、7月から勝浦座の座員から指導を受け練習に励んできた。

小松島西高校勝浦校民芸部

伝統芸能の継承、情操教育を目的に昭和37年に創設された。人形技術の習得が難しく、人形や道具類も手に入りにくい人形浄瑠璃を、高校の部活動として現在まで取り組んでこられたのは、地元勝浦座の熱心な指導と地域の温かい支援のおかげである。阿波人形浄瑠璃フェスティバル、高校総合文化祭など、積極的な活動を行っている。



勝浦座



■所在地／勝浦郡勝浦町大字久国

■座長／松田 貞雄 ■座員／18名

勝浦座の前身「久国座」は、江戸時代末期に久国村の若者によって創られた人形遣いの一座。明治、大正、昭和の初めには盛んに活動していたが、昭和6年の農村舞台の火災で人形、道具等全てが焼失。あわせて戦争の激化等で活動休止となったが、焼失を免れた三番受叟の奉納は続けられていた。戦後復活の機運が高まり、隣村の人形座の道具一式を購入し「勝浦座」として再出発、昭和49年9月には勝浦町の無形文化財の指定を受けた。阿波人形浄瑠璃振興会に所属し、18名の座員が20余りの演目をこなし、夏期大会や阿波十郎兵衛屋敷の定期公演はもとより、県内外で積極的に活動を続けている。